

カリキュラム

A. バックオフィス	ベンダーマネジメント力の向上
システム導入	

コースのねらい	情報システム開発の発注者(ユーザー企業)として知っておくべき事項を理解し、システム開発会社(ベンダー)との良好な関係を築くためのベンダーマネジメント手法を習得する。
---------	--

	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間(H)
講義内容	1	ベンダーマネジメントの概要 (1)ベンダー管理でよく起きる問題点とは ・システム開発の現場において、よく起きがちな問題を洗い出すことにより、そこからベンダーマネジメントの必要性を理解していただく。 (2)ベンダーマネジメントのステップ ・開発、運用に分けて、失敗事例をベースに、なにを、どのポイントで、どうしていくかを学ぶ。	1.5
	2	ベンダーの選定 (1)ベンダー選定のステップとRFPのポイント 適したベンダーを選ぶためにRFP(提案依頼書)での伝え方やポイントを学ぶ。 (2)ベンダー選定の評価ポイントとは ・ベンダー選定の際の一般的な評価項目についてそのポイントと解説を行う。 (3)ベンダー選定演習 ・事例を元に、ベンダーを選定する演習を実施する。その際、ベンダーにどこが足りないのか、どうすればよいのかを指摘できるようにする。	3.0
	3	VMOが担う役割 (1)VMOが果たす役割 VMOが果たす役割(契約、パフォーマンス、モチベーション)について、何を行う事が大切なのか理解する。また対社内に対してどのような役割を果たしていくかについても解説する。 (2)VMOの役割演習 ・ケースを用いて、VMOとしてどのような対応を果たせばよいかをディスカッションし、洗い出す。	1.5
合計時間			6.0

演習	<ul style="list-style-type: none"> ・ベンダー選定演習(ベンダー評価項目の作成と評価の実施) ・VMOの機能演習(システム開発を用いたVMOの役割演習)
----	---

カリキュラム作成のポイント	<p>これからベンダーを選定する方だけでなく、今現在、開発や運用を依頼しているベンダーとの関係をどう改善していくのかについても学べるようにします。</p> <p>事例を用いて、疑似体感しながら理解を深めるようにしました。</p>
---------------	--

講師から一言	<p>これからベンダーを選定する方だけでなく、現在のベンダーとの関係をどう改善していくのかについても、事例を用いて疑似体感・理解を深めて頂きます。</p>
--------	---